

## こんなときどうするの

○目標となる資質

コミュニケーション能力、思いやり・他者理解、セルフコントロール、

○指導のねらい

自己の話し方がどんな気持ちから生まれているのか気づき、場面に応じた友達への返事や、友達の返事に応じた行動ができる。

○準備するもの

場面カード（自分の日常的な行動）、顔カード

○教育課程、実施時期

自立活動、総合的な学習の時間、特別活動

○留意点など

発達の状態や程度に応じて、身体活動等を取り入れる

展開例

	学習活動	指導上の留意点
導入 5分	1 自分の日常的な行動を思い起こさせる	・児童の日常のトラブル場面を教師が再現し、課題に気付かせる。
	こんなとき、どうするの？	
展開 40分	2 場面カードを見て、登場人物のセリフや気持ちを考えて話し合う  (1) ボールで遊んでいる場面  (2) AがBにボールを貸す場面  (3) AがBにボールを渡すのを拒否する場面	・顔の表情や動きを、イラストや動作等を交えて考えさせる  ・話合いのはじめに話を聞く時の注意点を示した聞き方カードを提示する 【教師用資料1】  ・A、Bという立場の違いに応じたセリフを考えさせるために、それぞれの顔カードをはる  ・出てきたセリフをみんなで確認させるために、「話す時、聞く時の約束表」にセリフを書き込む 【教師用資料3】
まとめ 5分	3 本時のまとめをする。	・ボールを貸してもらえる時、貸してもらえない時の話し方や行動の仕方を確認する

## 参考

本時案は、知的障害特別支援学校（小・中・高等部）を想定している。実態に合わせて変更して実施できる。

### ○「自分の日常的な行動を思い起こさせる」について

本時では、ボールの貸し借りの場面に応じた返事をしたり、相手の返事に応じた行動をしたりすることができるようになることをねらいとしている。

導入では、物の貸し借りや物のやりもらい等、日常のトラブル場面を教師が再現することで課題に気付かせ、場面に応じた伝え方、行動の仕方を学習することを知らせる。

### ○「場面カード（自分の日常的な行動）」について【教師用資料2】

貸し借りの場面に応じた話し方や行動の仕方について考えることを知らせるために、まず、(1)場面 『Aがボールで遊んでいる』場面のAの行動や気持ちについて考えさせる。次に、(2)場面 『Bの要求に対して、Aが許可の返事をし、BがAの返事を待ち、お礼を伝える』場面の登場人物のセリフについて考えさせる。そして、(3)場面 『Aが要求に対して拒否し、Bは相手の返事に合わせた行動をする』場面の登場人物のセリフや行動について考えさせる。

登場人物の行動を考えるのが難しい場合には、「Aは何か持っているね。」「何を持っているのかな?」のようにヒントとなる言葉かけを行う。

A及びBの立場の違いに応じたセリフを考えさせるために、AとBの顔カードをホワイトボードに貼るのもよい。2人の男の子がボールを取り合う場面については、登場人物のセリフや気持ちについてペープサート进行操作させ、話し手、聞き手の立場の違いに気付かせる方法も考えられる。

### ○「話し方や行動の仕方を確認」について【教師用資料3】

児童が考えた場面に応じた話し方や行動の仕方を「話す時、聞く時の約束表」に教師がまとめ、本時のまとめとして、話し方や行動の仕方を確認する。

### ○「ソーシャルスキルトレーニング」について

本単元は自立活動の内容の6つの区分のうち、①「心理的な安定(2)状況の理解と変化への対応に関すること」と、②「人間関係の形成(4)集団への参加の基礎に関すること」と、③「コミュニケーション(5)状況に応じたコミュニケーションに関すること」を組み合わせ、ソーシャルスキルトレーニングを通して日常生活で必要とされるルールを理解し、場面に応じた適切な行動ができるようになることをねらっている。ソーシャルスキルトレーニングは、「教示」、「モデリング」、「リハーサル」、「フィードバック」、「劇化」という5つの活動から構成されるものである。日常生活に近い場面を設定しソーシャルスキルトレーニングを行うことは、場面に応じた話し方をしたり、相手の返事に応じた行動をしたりする等、伝え合う力を身に付けさせる上で有効である。ソーシャルスキルトレーニングの最後に行う「劇化」は児童生徒にとって興味・関心の高い活動であり、より日常生活に近い場面設定の中で伝え合うことで、学習したことの般化を促すことができると考えられることから、本時案実施後、劇化することがより効果的である。

## 資料

- ・心の教育授業実践研究第4号：小学校編
- ・福岡教育センター


【教師用資料 1】

1 聞き方カード

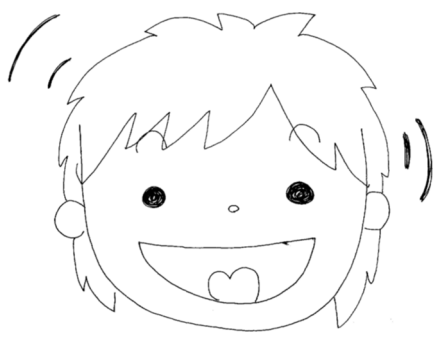
あいて  
1 相手を  
み き  
見て聞く

A line drawing of a girl's face with short, spiky hair, large dark eyes, and a wide smile. She is looking directly forward.

2. だまって  
み き  
見て聞く

A line drawing of a girl's face with short, spiky hair and small dark eyes. She has a neutral expression and is holding her right index finger to her lips in a 'shh' gesture.

3. そうだと  
おも  
思ったら  
うなづく

A line drawing of a girl's face with short, spiky hair and small dark eyes. She has a very wide, happy smile showing her tongue. There are curved lines around her head, suggesting movement or a happy expression.

4. メモをとる



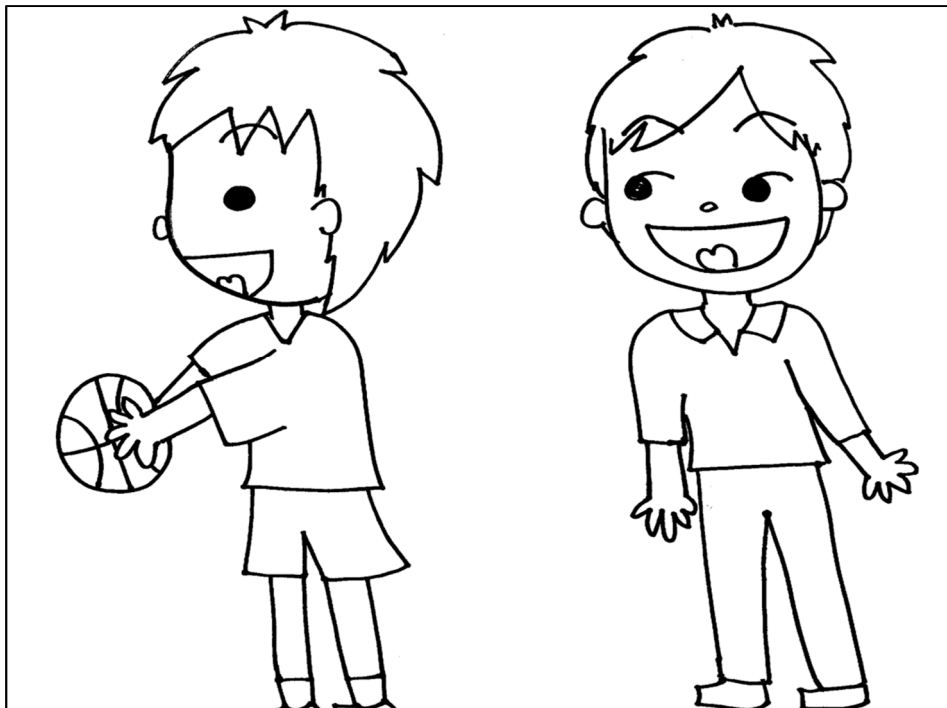
5. わからないときは  
たしかめる



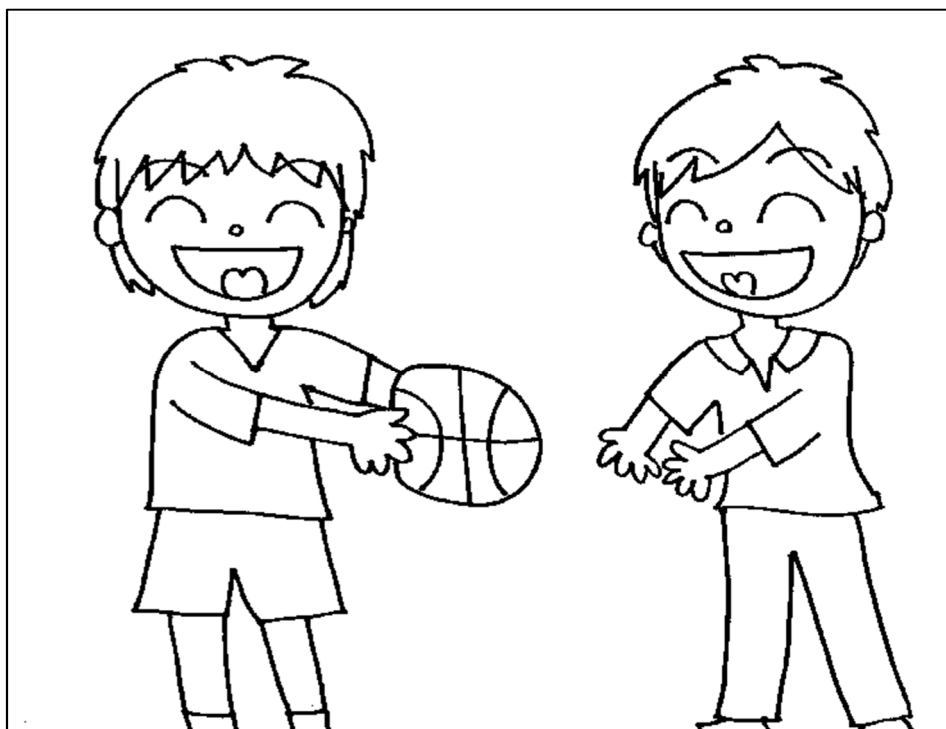
【教師用資料 2】

1 「場面カード（自分の日常的な行動）」

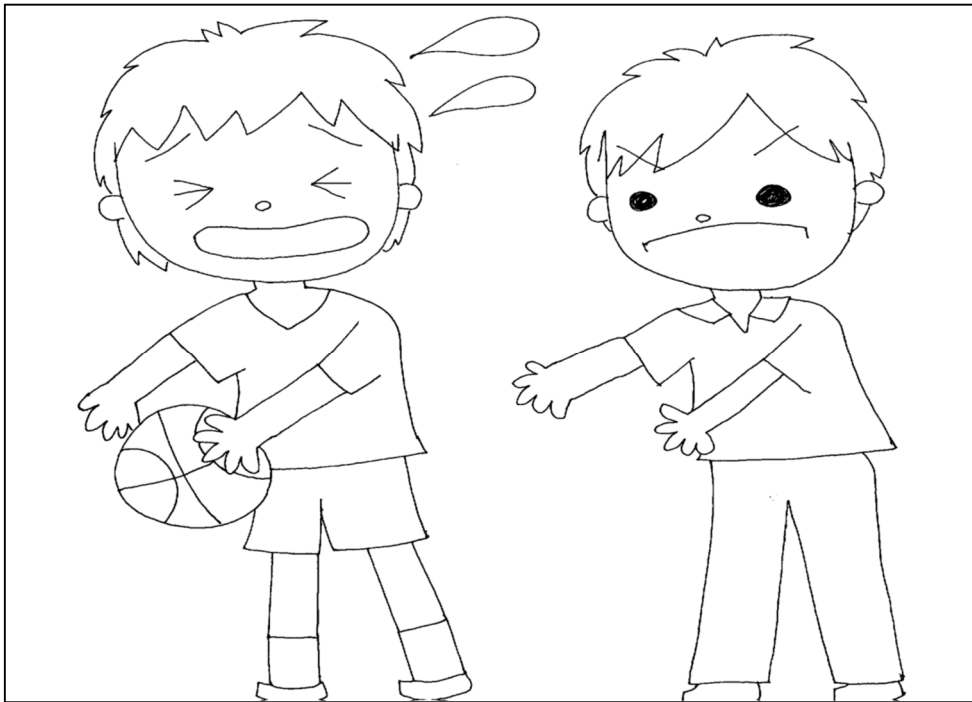
(1) 『Aがボールで遊んでいる』場面



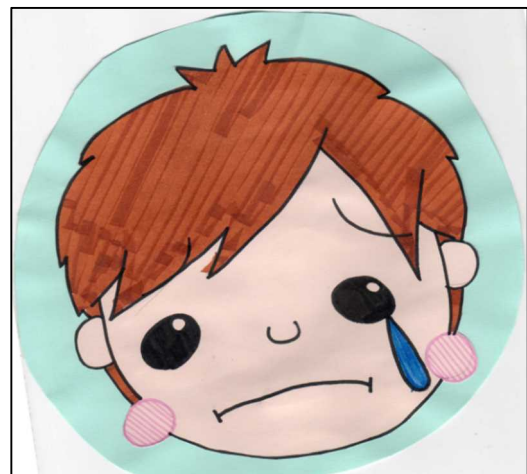
(2) 『Bの要求に対して、Aが許可の返事をし、BがAの返事を待ち、お礼を伝える』場面



(3) 『Aが要求に対して拒否し、Bは相手の返事に合わせた行動をする』場面



2 「顔カード (喜怒哀楽)」



【教師用資料 3】

1 話すとき、聞くときのやくそく (確認しよう！)

【ボールを貸してもらえる場面】

	書き込み例(児童生徒の発表)
1 相手は話できるようすかたしかめて	・にこにこしている (・いそがしそうだから、やめとこう)
2 相手へ伝えることは、わかりやすく	・私も遊びたいから、ボール、貸してくれる？
3 相手からの話に対してこたえよう	(・貸してあげる) ・貸してくれてありがとう
4 疑問に思うときはたずねよう	
5 相手の話を、聞くよゆうはあるか	・今は、遊んでいるから後でね

【ボールを貸してもらえない場面】

	書き込み例(児童生徒の発表)
1 相手は話できるようすかたしかめて	・いそがしそうだな、やめとこう
2 相手へ伝えることは、わかりやすく	・私も遊びたいから、ボール、貸してくれる？
3 相手からの話に対してこたえよう	(・ごめんね。だめなんだ) ・わかった
4 疑問に思うときはたずねよう	・いつなら、かしてもらえる？
5 相手の話を、聞くよゆうはあるか	